

## 第76回大野市介護保険運営協議会・第2回大野市高齢者福祉計画策定委員会概要

令和5年9月4日（月）午後1時30分～

結とびあ2階 201・202号室

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 議題

#### (1) 第8期介護保険事業計画における目標指標の進捗状況について【資料1、1-1】

事務局別添資料に基づき説明

##### 【意見等】

○通所型サービスBは、目標がなかったのだから評価もなしでよい。

○訪問型サービスのサービスBについて、第2層協議体でモデル的に取り組んでいる内容を教えてほしい。

→（市）阪谷地区の2つの集落で、安否確認のための話し相手、ゴミ出し、除草剤の散布、回覧版を回すことを行っている。

○紙おむつの支給事業について、審査がかなり厳しいとか、一般量販店の方が種類が豊富で利用しやすいという話を聞いている。

→（市）市民税の課税・非課税という観点からは、若い世代の方と同居している場合は非課税世帯とならず厳しいと捉えられるのかも。種類については、大野衛生設備(株)に委託しているため、取り扱う種類が限られている。

○評価について基準A B C Dとあるが、これは目標値に対する実績値の割合で客観的に判断しているのか。

→（市）そのとおりである。

○生活習慣病の健診について、75歳以上も対象にしてほしい。

→（市）75歳以上になると「後期高齢者健診」と名称は変わるが健診は実施しているので、ぜひ受診していただきたい。

○「成年後見制度利用支援事業」は、実際に相談があつてそれに対応するという事業なのか。それとも普及啓発の事業か。

→（市）普及啓発もしているし、相談については高齢者の場合は地域包括支援センターが窓口とり、中核機関として社会福祉協議会内のゆいハートが対応している。

#### (2) 国の基本的な方針（案）について 【資料2】

#### 事務局別添資料に基づき説明

- 【意見等】 ○大野市でヤングケアラーの問題は把握しているか。  
→ (市) ヤングケアラーの問題が取り立てて相談に上がってくることはないが、福祉課やこども支援課とも連携しながら対応していきたいと考えている。
- 介護老人の1人暮らしなどいろいろな課題があると思うが、デジタル化はできないのか。  
→ (市) 国が示しているデジタル化とは、主に施設の介護職の方が介護ロボットの導入、ITを活用したデータ管理を勧めているものである。

#### (3) 基本理念、基本目標及び構成について【資料3、資料3-1】

##### 事務局別添資料に基づき説明

- 【意見等】 ○日常生活圏域の設定について、中学校統合に合わせて表現方法を見直した方がよい。  
→ (市) 検討する。

#### (4) 第9期介護保険事業計画における事業所調査の結果について【資料4、資料4-1】

##### 事務局別添資料に基づき説明

- 【意見等】 ○意向調査というのは市指定の地域密着型だけでなく、県指定部分も補足するのはどうしてか。  
→ (市) 次期計画期間中の介護保険の必要サービス量を見込むために、県指定の施設についても把握する必要がある。  
休止している施設もあるが、大野市の介護施設の整備状況を見ると、ほぼ充足している。

#### 4. 報告事項

##### (1) 介護サービス事業所の指定更新等について【資料5】

##### 事務局別添資料に基づき説明

- 【意見等】 特になし

#### 5. その他

##### 【9月議会上程の補正予算案について】

- ・物価高騰に係る電気料高騰分補助 1,604万円 (県補助 1/2)
- ・要介護高齢者住宅改造助成事業 160万円 (80万円×2件)
- ・地域密着型介護施設の一般停電用発電機整備事業補助 770万円
- ・R4年度決算に伴う精算金

【意見等】 ○人勸で公務員の初任給が大幅にアップしたが、介護職員の処遇改善及び介護報酬上乘せの情報が入ったら教えてほしい。

## 6. 閉会あいさつ